

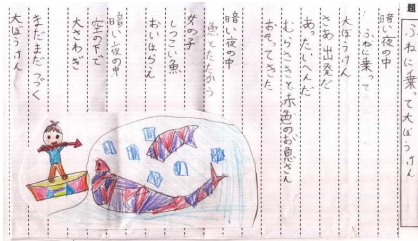
第3学年

「クレー」となかよし

～言語活動（クイズ大会）を生かした鑑賞～

めあて ・自作の詩でクイズ大会をすることで、「パウル・クレー」の作品を味わう。

準備物 ・「パウル・クレー」の作品8点



<クレーの作品で詩を書いた。>



<詩を読んで、クイズをする。>

<クイズの答えを発表する。>

学習内容	実践上の留意点
○クレーの作品2点を見て、話し合う。「黄金の魚」「黄色い鳥のいる風景」	・自由に話し合わせるが、色・形についての発言があれば取り上げる。
○クレーの作品8点から好きな作品を選び、詩に表す。上記2点と「あやつり人形劇場」「船乗り」「美しき庭師」「インストラ・ドゥルカマラ」「セネキオ（野菊）」「死と炎」	・国語科「詩を読もう」と関連づけて書かせる。 ・「クレーの絵本」の詩を読んで聞かせる。 ・自分がどの作品を選んだか、友達には知られないようにする。 ・色や形・イメージの要素が入るよう指導する。
○詩を読んで、どのクレーの作品が当てるクイズ大会をする。	・答えるときには、色や形・イメージなどの理由も言わせる。
○感想を発表する。	・楽しかったこと、クレーの作品について思ったことなどを話させる。 ・クレーの作品から学んだことを生かし、スクラッチ画を描かせてもよい。

